

2020年2月20日
イオンディライト株式会社

感染対策を含む清掃を効率化し、施設の衛生環境づくりに貢献
「UVC 技術」を病院の清掃業務に活用した成果事例を発表

「第35回 日本環境感染学会総会・学術集会」にてセミナーを共催

イオンディライト株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長兼社長執行役員 グループ CEO：濱田和成、以下「当社」）は、2020年2月15日（土）、パシフィコ横浜（神奈川県横浜市）にて開催された「第35回 日本環境感染学会総会・学術集会」にて、京都大学医学部附属病院の医師を講師に迎え、日本環境感染学会とランチョンセミナー¹を共催しました。



（左：セミナーの様子 右：院内でUVC照射機を使用する様子）

同セミナーでは、京都大学医学部附属病院 感染制御部 部長 長尾 美紀先生にご登壇いただき、「UVC 技術²を活用した効果的な清掃方法の構築」と題し、当社が「衛生清掃」サービスを提供する、京都大学医学部附属病院での取り組みについてご講演いただきました。「衛生清掃」とは医療機関等、高い衛生レベルを必要とする施設を対象に、院内関連感染対策を組み込んだ当社独自の清掃サービスで、同院では2018年から提供しています。

講演において、長尾先生は、感染症患者が退院した後の病室消毒の効率化を目的にUVC技術を取り入れるまでの経緯や、当社と共に取り組んだ約10ヵ月間に及ぶ研究内容（評価・検証・改善のプロセス）、並びに同研究で得られた科学的な成果を発表されました。加えて、病院清掃は病院と清掃サービス会社が同じ視点・意識を持ち、取り組むことが重要であることをお話しされました。

また、当社も展示会場において、同研究で得られた科学的な成果を基に、UVC技術を取り入れた清掃サービスを確立するための手順について来場者の方々に紹介しました。

同研究では、病室内の清掃を手作業からUVCに変更することで、清掃スタッフの約60%の労働力を削減できることが実証できました。この研究成果を活かし、今後、「人手不足」に苦慮される病院へのサービス展開も視野に取り組んでまいります。

※1 ランチョンセミナー：学会の昼食時間帯を利用し、学会の趣旨に準ずるセミナーを開催することにより、学会員の知識向上を図ることを目的とした活動。

※2 UVC 技術：紫外線は波長によりUVA(315nm-400nm)、UVB(280nm-315nm)、UVC(200nm-280nm)に分類される。UVCは微生物のDNAに損傷を与えるため殺菌、消毒効果がある。

当社では引き続き、クリーンクルー（清掃員）一人ひとりの専門性や技術力の強化を通じた品質の向上に加え、病院や研究所など各種機関との協業により、今般の UVC 技術の活用など、より高品質なサービスの開発・提供を目指します。今後も当社は衛生清掃を通じて、感染対策を組み込んだ高度な衛生環境づくりに貢献してまいります。

【ランチョンセミナー概要】

日時：2020年2月15日（土） 12：10～13：00

会場：会議センター第3会場（5F 501）

「UVC 技術を活用した効果的な清掃方法の構築」

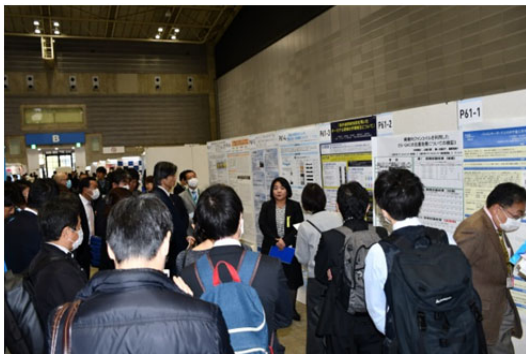
司会：渡邊 都貴子 先生（山陽学園大学 看護学部）

演者：長尾 美紀 先生（京都大学医学部附属病院 感染制御部）

主催：日本環境感染学会、イオンディライト株式会社

聴講者数：283名

【展示会場の様子】



写真左：京都大学医学部附属病院との共同研究の概要を、ポスターを用いて
当社担当者が発表する様子

写真右：当社出展ブースの様子

— サービスに関するお問い合わせ先 —

イオンディライト株式会社 ヘルスケアFM営業推進部

TEL：03-3524-8721 FAX：03-6332-8116

— 本リリースに関するお問い合わせ先 —

イオンディライト株式会社 ディライトコミュニケーション部

TEL：03-6840-5712 FAX：03-3524-8902